



葉山のきかい

発行日 平成17年11月23日

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111 編集 議会広報特別委員会

第3回(9月)定例会

平成16年度決算認定関連記事	2～8ページ
委員会レポート	10～11ページ
一般質問(14人登壇)	12～18ページ





決算の審査風景

第3回
9月
定例会

皆さんの税金、
どう使われたか

総額

190
億
190
万円

第3回定例会は9月20日から10月20日まで31日間開催され、町長より平成16年度一般会計と国民健康保険・老人保健医療・介護保険・下水道事業の4特別会計の決算の認定をはじめ、17年度一般会計及び3特別会計の補正予算、葉山町集会所条例の一部を改正する条例など11議案が提出されました。また、町長行政報告や専決処分の承認、住民からの陳情4件が提出されました。

決算に対する総括質問は9人、行政の問題点に対する一般質問は14人が行いました。

決算の認定については、決算特別委員会に付託され、慎重に審査して本会議に報告されました。8人の議員が反対(5人)・賛成(3人)の討論を行いました。すべて原案のとおり可決しました。

決算特別委員会

8人の議員による決算特別委員会を設置し、9月29日から10月5日まで、関係部課長などの出席を求め、説明を受けさらに資料の提出を求め細部にわたり審査を行いました。

平成16年度の予算がどのくらい目的に沿って執行されたか、運営の改善がなされたか、努力の効果が発揮されたか、環境や福祉の面でも向上しているかなど慎重にチェックしました。

平成16年度決算額

	歳入	歳出	歳入歳出差引額
一般会計	105億2,173万7,165円	100億2,338万1,205円	4億9,835万5,960円
国民健康保険特別会計	25億7,007万5,398円	24億9,788万5,056円	7,219万 342円
老人保健医療特別会計	26億5,648万1,020円	26億6,229万7,159円	581万6,139円
介護保険特別会計	17億3,186万9,751円	16億8,685万1,157円	4,501万8,594円
下水道事業特別会計	22億 523万3,889円	21億3,149万 316円	7,374万3,573円
合計	196億8,539万7,223円	190億 190万4,893円	6億8,349万2,330円

老人保健医療特別会計の不足額581万6,139円は、翌年度繰上充用をしております。

決算特別委員会審査

どんな成果があったか

事業ごとに5日間にわたり審査しました
(主な事業の抜粋)

町制施行80周年記念事業
(201万円)

町制施行80周年の節目を町民とともに祝い、記念式典及び記念コンサートを開催した。

システム開発事業
(2401万9千円)

固定資産税システム、住民税システム、介護保険システムの修正及び新財務会計システムの開発及び修正を行った。

くれ竹の郷葉山推進事業
(1276万2千円)

葉山生活文化の継承と創造及び協働を基本方針に、まちづくり活動の実践を通じて、新たなまちづくりのしくみ、制度、体制づくりを推進した。

全国都市再生モデル調査事業
(598万3千円)

町制80周年記念式典において町政の振興、公共の福祉増進、文化の向上等に功労のあった者の表彰を行った。

町政功労者表彰事業
(302万5千円)

「地域を結ぶ『みちづくり』によるスローな観光、安全で美しいまちなかの再生」を提案し選定されたので、公募町民、NPO法人等多様な主体との協働で実施及び報告を行った。

交通安全対策事業
(418万6千円)

交通事故防止対策として、広報等によるPR及び啓発用看板の設置等を行い、事故防止と交通安全意識の高揚を図った。

在宅高齢者住宅改修費助成事業
(81万9千円)

町内の在宅高齢者が居住する住宅を、安全で快適に生活するために、住宅改修をする場合、費用の一部を助成した。

文化公演事業
(368万5千円)

文化公演事業を開催し、町民の文化意識の高揚を図った。

小児医療助成事業
(2918万2千円)

子どもたちの健全な育成を支援するため、医療費の一部(自己負担分)を助成した。

次世代育成支援対策推進事業
(137万1千円)

「次世代育成支援対策推進法」に基づき、次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成さ

れる環境整備を進めることを目的として、次世代育成支援行動計画を策定した。

健康づくり事業
(138万4千円)

生き生きセミナー(健康づくり講座・練功十八法講習会・食生活改善講習会)の開催などを行った。

健康診査事業
(6627万7千円)

町民の健康を保持するため、各種健康診査を実施した。

鳥獣保護管理対策事業
(323万6千円)

有害鳥獣による被害対策等を図った。

ごみ資源化・減量化事業
(3419万3千円)

ペットボトル、発泡トレイ、古紙等について住民の協力により回収・資源化を推進し、ごみの減量化を図った。また、資源化可能なものについては資源化を図った。

生産者と消費者のふれあい事業
(14万5千円)

畜産や農業の生産者と

消費者とが、相互の理解を深めるためイベントを行い、地場農産物と葉山の消費拡大を図った。

観光施設維持管理事業
(2603万1千円)

町内13カ所の公衆トイレを快適に利用できるよう維持管理を行った。

海水浴場開設事業
(1835万9千円)

夏季レクリエーションの一環として、町内3カ所の海岸を7月1日から8月31日までの2カ月間、海水浴場として開設し設営した。また水難事故の防止にも努めた。

民間木造住宅耐震診断及び耐震補強工事事業
(101万6千円)

木造住宅の耐震相談を実施し、現地耐震診断・耐震補強工事等の費用の一部補助を行った。

急傾斜地崩壊対策事業
(2269万9千円)

急傾斜地崩壊対策工事を3カ所行った。

急傾斜地崩壊対策事業
(2269万9千円)

急傾斜地崩壊対策工事を3カ所行った。

公園等整備事業
(984万9千円)

公園利用者の利便性と安全性を図るため、公園整備等を行った。

防災資機材備蓄食糧整備事業
(700万8千円)

災害応急対策に必要な資機材等の整備・備蓄・維持のための保守点検・修理を行った。

教育総合プラン策定事業
(222万4千円)

「教育総合プラン」の策定を行い報告書を作成した。

南郷中学校施設整備事業
(1916万4千円)

グラウンドメンテナンス工事等施設整備を行った。

長柄桜山古墳群調査整備事業
(1805万4千円)

国史跡長柄桜山古墳群の整備事業にあたり、調査指導委員会を開催した。また土地を購入した。

決算審議 総括質問

こんな点が気がり

質問者の提出原稿を基に編集しています

ようにしていくか。

都市経済部長

17年度
度収支は 1億7800

は、前年度と比較して増
万円強、同15年度のそれ

えてきているし、県下の
は 3500万円強でマ

町村では当町のみが実施
イナスが実に5.1倍となっ

しているの、住民の安
全を図るためより周知を

していききたい。

問 耐震補強工事額の見
16年度 1億5300万

直しも必要ではないか。
円弱となったので、その

町長 工事は自己負担が
幅は約2億2200万円

多く、躊躇されている方
に達し、それだけ同会計

があり、財政状況を勘案
の収支が悪化した。この

理由について。

町長 財政面を測る場合
には種々の指標がある。

問 『在宅高齢者住宅改修
単年度収支だけでみれば

費助成事業』は、浸透し
指摘の通りである。

していないが、今後も継続
指摘の通りである。

していくか。

福祉環境部長 介護保険
16年度末一般会計、

の補完的業務として行な
下水道事業特別会計計

っている、今後も継続し
の町債(借金)残高は161

て進めていきたい。

その他の質問 『教育総
億2000万円強に達

合プラン策定事業』中
し、17年度末ではそれが

学校生徒バス通学費助
166億7000万円弱にな

成『下水道整備事業』
る見通しだが、これらの

返済計画は。

町長 借金と各種事業は
連動している。事業をし

なければ借金もする必要
がない。中期財政見通し

に基づき返済していく。

計・特別会計合計の単年

度収支は 1億7800

万円強、同15年度のそれ

は 3500万円強でマ

イナスが実に5.1倍となっ

ている。一般会計面では

15年度6900万円弱が

16年度 1億5300万

円弱となったので、その

幅は約2億2200万円

に達し、それだけ同会計

の収支が悪化した。この

理由について。

町長 財政面を測る場合

には種々の指標がある。

問 単年度収支だけでみれば

指摘の通りである。

問 16年度末一般会計、

下水道事業特別会計計

の町債(借金)残高は161

億2000万円強に達

し、17年度末ではそれが

166億7000万円弱にな

る見通しだが、これらの

返済計画は。

町長 借金と各種事業は

連動している。事業をし

なければ借金もする必要

がない。中期財政見通し

に基づき返済していく。



しおさい公園内 公衆トイレ

析と対策は。

総務部長 主な原因のひ

とつはごみ焼却施設の維
持管理費委託料の増、行

政需要があればそれにお
金がかかる。

問 一般会計の不用額が
約4億円、特に民生費の

障害者と高齢者の在宅生
活支援事業の執行率が低

い。住民サービスの視点
で利用者側にたった仕組

みかどうかの点検は。

町長 予算枠内で対処、
当然ではないか。

総務部長 民生費の不用
額は約8600万円、見

込みより利用者が少なか
った。

問 バランスシートの公
表は。

総務部長 選挙の際、町
長がマニフェストとして

言っており準備中。

問 決算の審査中、なぜ
準備されているならば示

せないのか。

町長 時間的に無理があ
る。

問 約7000万円の物
件費の増額だが、その傾

向が進むのか、原因の分

析と対策は。

総務部長 主な原因のひ

とつはごみ焼却施設の維

持管理費委託料の増、行

政需要があればそれにお

金がかかる。

問 一般会計の不用額が

約4億円、特に民生費の

障害者と高齢者の在宅生

活支援事業の執行率が低

い。住民サービスの視点

で利用者側にたった仕組

みかどうかの点検は。

加藤 清 (尚政会)

9月27日・28日、16
年度決算に対し総括
質問を9人の議員が
行ないました。

問 『民間木造住宅耐震
診断及び耐震補強工事事

業』は、在来木造住宅の

耐震性能を上げる目的で

実施したが、今後はどの

守屋 巨弘 (無所属)

問 平成16年度一般会

伊藤 純子 (はやまACT市民の会)

問 バランスシートの公
表は。

総務部長 選挙の際、町
長がマニフェストとして

言っており準備中。

問 決算の審査中、なぜ
準備されているならば示

せないのか。

町長 時間的に無理があ
る。

問 約7000万円の物
件費の増額だが、その傾

向が進むのか、原因の分

析と対策は。

総務部長 主な原因のひ

とつはごみ焼却施設の維

持管理費委託料の増、行

政需要があればそれにお

金がかかる。

森 勝美 (蒼生会)

問 諸証明等宅配サービ
スは手数料収入に対しコ

ストは26倍で、利用者も

減少している。効率的行

政運営の観点から逆行し

ているが。

町長 若年層の方々の利

用もあり御指摘の点も考

慮し対応を図る。

問 男女共同参画社会推

進事業と社会人権同和啓

発事業は、たて割りでな

待寺 真司 (新葉クラブ)

問 性別消費的経費の

増額要因の分析は。

町長 扶助費における児

童福祉手当てや、医療費

助成制度の拡充など。

問 人件費の削減を図る一方で、職員の世代間の均等配置が望まれるが。

町長 両面に配慮し、バランスを取り対応する。

問 減税補てん償の借換えなど、国の制度に疑問を感じているが。

町長 地方に負担を強いられると感じる。地方が結束して国との協議を進めることが肝要。

問 財政調整基金の適正残高はどの程度必要か。

町長 成果は出ている。

問 高年齢者のリフォーム助成制度、木造住宅耐震診断等助成制度は、どう評価されたか。

町長 高年齢者住宅改修補助費も、民間木造住宅耐震診断等補助なども、効果もあり、地域振興を図ってきた。

問 現在の高年齢者福祉のあり方をどう考えるか。

町長 在宅高年齢者のニーズに、サービスの適正化に努める。

問 高年齢者福祉施策が減少傾向だが。

町長 高年齢者福祉施策が減少傾向だが。

問 高年齢者福祉施策が減少傾向だが。

町長 高年齢者福祉施策が減少傾向だが。

阿部 勝雄 (日本共産党)

問 広域連合の協議、議論、勉強会参加は成果か。

町長 12月末に方向性を出す詰めをしている。

問 粗大ごみの有料化は、減量化に効果があったか。

町長 有料化は減量化とは必ずしも連動しない。

問 減量化施策の評価は。

町長 成果は出ている。

問 高年齢者のリフォーム助成制度、木造住宅耐震診断等助成制度は、どう評価されたか。

町長 高年齢者住宅改修補助費も、民間木造住宅耐震診断等補助なども、効果もあり、地域振興を図ってきた。

問 現在の高年齢者福祉のあり方をどう考えるか。

町長 在宅高年齢者のニーズに、サービスの適正化に努める。

町長 高年齢者福祉は大変重要な施策だが、全て既得権的に残して、上積みばかりはできない。

畑中由喜子 (いきいき葉山みんなの会)

問 一般会計決算で主な施策の推進は十分であったか、自己評価を伺う。

町長 おおむね私が描いている方向に進んでいる。

教育長 長柄桜山古墳、教育総合プラン等々児童生徒の安全対策と教育環境の整備が重要と考え努めている。

消防長 三交替制勤務に

移行し職員の健康増進と住民サービスの向上につながると思っていると思う。

問 環境の現状把握は。

町長 現在の葉山の環境全般がどういう状況かを踏まえ、将来どうすべきかが必要と認識している。

問 し尿処理施設では重油を燃しているのに地域温暖化対策実行計画の事業評価はBランクになっているのは疑問だ。

町長 指摘されるまでもなく大きな課題と認識している。検討の最後の詰めの状況に至っている。

目。類似団体の約2倍以上。守屋町政は福祉の仕事をしていないで、ためこんでいるのではないか。

町長 今の状況が適正ではないかなと思う。

問 斜面地地下室マンション対策は。

町長 平成16年6月に建築基準法が一部改正され、容積率の不算入措置に係る地盤面を、市町村が条例で定められることになった。県と協議し、法的に実効性の高い制度の導入に調査研究を進めている。

問 返葉新道沿線のまちづくりは。

町長 景観法等の諸制度を活用し、緑と良好な住環境の調和を重視した地区の魅力高めをまちづくりに取り組んでいく。

近藤昇一 (日本共産党)

問 決算における民生費の構成比が、県下市町村の下から5番目。類似団体、大磯・二宮・津久井より低い。逆に積立金が町村の中で一番多い。基金は清川について2番

目。類似団体の約2倍以上。守屋町政は福祉の仕事をしていないで、ためこんでいるのではないか。

町長 今の状況が適正ではないかなと思う。

鈴木 道子 (21世紀同志会と公明の会)

問 平成16年度施政方針や町制施行80周年記念事業についての評価を伺

町長 平成16年度施政方針や町制施行80周年記念事業についての評価を伺

町長 各事業が順調に推移し、適切に良好に進捗しているものと理解している。80周年記念事業は従来の式典や儀式を中心にしたものから、町民参加型に変革ができ、時代に適応したふさわしい記念事業と思っている。

問 小児医療費助成につき所得制限の緩和は。

町長 検討を加える必要があるという認識は持っている。検討していく。

問 保育士の研修についてはどうか。

町長 交流も必要だと思ふ。担当にも話し新たな対応を幅広く考えていく。

問 町長の4期目出発、また町制80周年を終えて、新たな歩みに対しては今日までの反省が必要ではないか。

町長 心にとめて町政を進めていく。

教育長 将来の宝物を育てていく気持ちを今後も大事にしていきたい。

町長 心にとめて町政を進めていく。

教育長 将来の宝物を育てていく気持ちを今後も大事にしていきたい。



長者ヶ崎の町有地

決算特別委員会の審査報告

9月29日から5日間に

町長質問

渡り、関係部課長の説明

及び資料の提出を求め、

細部に至るまで審査を行

いました。その後10月12

日に、町長、教育長に対

し6項目の質問をし、委

員会の意思決定を行いま

した。

があるのなら、改善の余地はあるだろう。

問 世代間のバランスを

考慮した職員採用計画の

考え方は。高齢化に関し

ては、平成15年度実績で

行政職は1番、消防関係

は2番、教育委員会関係

でも県下町村中トップで

ある。

問 弁護士への報酬が近

隣市と比べても高額であ

り、別途法律相談事業の

際にも支払いが生じてい

るが、見直す考えは。

町長 費用に関しては検

討の余地があると思う。

町長質問事項

1. 世代間のバランスを

考慮した職員の採用

計画について

2. 顧問弁護士のあり方

について

3. 長者ヶ崎に所有する

町有地の取り扱いに

ついて

4. 堀内防災広場の利用

方法について

5. 下水道整備事業にお

ける下水道債の新規

発行及び返済計画に

ついて

教育長質問事項

1. 学校プールの有効活

用について

町長 行政改革懇談会か

らの提言等を踏まえ、世

代間のバランスを充分考

慮した採用を図る。

問 顧問弁護士に関して

一人の方が長期間、その

任にあることの弊害は。

町長 現在の弁護士には

当町の意向を最大限くみ

取っていたら、充分に

対処していただいている。

問 町民法律相談の際に

もっと親身に相談に乗っ

て欲しい、あるいは対応

に問題があるとの町民か

らの指摘があるが。

町長 仮にそのような事

問 長者ヶ崎の町有地が

不法占拠されている問題

で、占拠者に売却すると

いう話を聞いたが。

町長 これまでの議論の

中で、撤去・売却それぞ

れ選択肢として考えられ

たが、同地の取得経緯の

状況も鑑みて、また議員

の皆様の意向も勘案して

粘り強く交渉していきたく

いと考える。

問 平成16年度の堀内防

災広場の活用状況は、図

書館ホール利用者の駐車

場として使用されただけ

である。防災広場ではあ



第30回葉山ふるさとひろば記念パレード

るがこのままの状態では有効利用されないが。

町長 同広場の購入目的

が防災用地としてなので

この目的に合う範囲での

活用が望まれる。地元の

町内会から利用に関する

意見書をいただいている

ので、それらのご意向等

を踏まえて検討している

ところである。

問 同所は殺風景だとい

う意見もあり、フェンス

の位置の問題や、周辺に

植樹するなど景観上も一

工夫するべきだ。

町長 フェンスは今後老

朽化した際に建て替え等

対応を考えたい。様々な

意見があるのであれば、現

況のままで良いと思つ。

問 景観の面など多面的

に考え、柑橘類の木を植

えるのも一案だが。

町長 ご意見として承ら

せていただく。

問 下水道事業は当町の

最大のプロジェクトなの

で、長期整備計画に基づ

いた下水道債の新規発行

及び返済計画は。



神奈川県警カラーガード隊演技

教育長質問

問 毎年各校のプール維持管理に高額な費用がかかっている。町有財産と

で、夏場の後半時期は利用者が少なくなる傾向にある。

かかっている。町有財産という面からも、一般住民の生涯学習の場として、また健康増進を図る上で、も更にプール開放を考へるべきと思うが。

教育長 プールの使用は安全第一が大前提で、学

校施設の管理運営の責任者は校長が担っており、責任範囲が大きくなっている。現状では、プール開放4校でひと夏30日間

の利用者は6千人程度

尚、平成16年度決算特別委員会の総意として、



オープニングセレモニー



雨の中大勢の来場者で賑う



2005 ビッグハママーケット



草津町商工会青年部も出店

次の指摘事項6点・要望事項4点を付しました。

指摘

1. 税・料などの悪質滞納者への対応を研究すべき

2. 予備費の充用については、議会への報告を速やかに言い、また極力補正予算対応をはかるべき

3. 事故・災害発生時には議会への報告を含め早急に対応すべき

4. 町民災害見舞金制度の周知徹底をはかるべき

6. 葉山の緑を適切に管理するため全庁的な取り組みを強化すべき

要望

1. 宅配サービスの更なる拡充に向け、再検討されたい

2. 高齢者福祉として緊急通報システム及び配食サービスの充実をはかられたい

3. 有害鳥獣の処分方法を検討されたい

4. しいさい公園利用者のサービス向上に取り組まれたい

議員研修会開催

8月8日(月)葉山町つんたんの適切な対応の必要役場3階協議会室において、耕心塾学習教室・教育相談室主宰塩谷英策氏

発達障害にはLDや注目を迎える議員研修会が行われ、正しい支援を受けました。

塩谷氏は軽度発達障害児等のためのNPO法人立学校設立に尽力され、また日々の学習障害(LD)児者等とのかわり、目の中に居る子供がたお話を伺いました。その子らしく生きていくとしてLD疑似体験をし、ためにより支援するが認知・情報処理に障害があるLD児者の気持ちがあるLD児者の気持ちがあることだと痛感した理解でき、かわりを持ちました。



研修会の様子

平成16年度の決算審議結果

討論

伊東 圭介
金崎 ひさ
鈴木 道子

賛成

反対

近藤 昇一
畑中由喜子
森 勝美
伊藤 純子
守屋 亘弘

一般会計

- ・町税の滞納繰越分の徴収率が前年度比較0.4%上回り、財源確保に努力し、限りある財源を町民生活に深く関りのある課題に配分している。
- ・決算状況の指標から見て、厳しい財政状況の中で、行財政改革が着実に実行され、財政運営が適切に行われ、行政効果もほぼ満足できる。
- ・小児医療費助成の対象年齢拡大、中学生通学助成制度の創設によって子育て支援を強化したことは評価できる。
- ・消防の3交替勤務への変更は評価できる。
- ・町政施行80周年事業の緑化事業は環境面から評価できる。
- ・「教育総合プラン」「次世代育成支援行動計画」の策定は充実したものである。
- ・保育園・教育総合センター施設整備事業も確実に進捗している。

特別会計

- ・4特別会計とも適正な予算執行がなされている。

一般会計

- ・歳入（町債発行額 11億8100万円）と歳出（公債費11億7300万円）の数字だけみても借金を返すために借金をする状況に陥っている。
- ・自主財源は高いのに福祉に関する扶助費の構成比は低い。健全財政といえない。
- ・職員の平均年齢は県内で一番高い。無計画な行政運営の結果である。
- ・長者ヶ崎の不法占拠された町有地は管理体制に問題があった。
- ・町は地球温暖化対策実行計画を策定したが、し尿の焼却処理に大量の重油を使用、保育園・教育総合センター複合施設建設事業にも省エネ対策がない。

国民健康保険特別会計

- ・医療給付の増額に対し保険料率は平成16年度から10%の値上げ。負担は重く滞納者を増やす悪循環である。年度途中、補正予算を組んだが7200万円の繰越しだった。当初予算から一般会計からの繰入れをしておけば保険料の値上げは抑えられたはずだ。

下水道事業特別会計

- ・平成16年度末の総建設事業費は295億円で面整備は200ヘクタール。18年度末事業認可300ヘクタールの達成は不可能。早急に下水道の全体計画の見直しを図るべきである。

決算審議に要した日数

6日間
賛成多数

各会計別決算の結果

- 一般会計……………賛成多数
- 国民健康保険特別会計……………賛成多数
- 老人保健医療特別会計……………全員賛成
- 介護保険特別会計……………全員賛成
- 下水道事業特別会計……………賛成多数

認定



歳入歳出予算の総額

(単位：千円)

会計名		補正前の予算額	補正後の予算額
一般会計		9,739,052	10,052,712
特別会計	国民健康保険	2,679,392	2,727,327
	老人保健医療	2,586,579	2,586,579
	介護保険	1,683,910	1,723,928
	下水道事業	1,947,002	1,957,162
	小計	8,896,883	8,994,996
合計		18,635,935	19,047,708

平成17年度補正予算

(は減額)

一般会計 (補正予算額 3億2,716万円)

歳入 主なもの	単位：千円
・衆議院選挙県委託金	13,500
・参議院補欠選挙県委託金	11,500
・指定寄附(高齢者福祉事業へ3件)	3,005
・繰越金(前年度剰余金補正)	298,355
・雑入(真名瀬駐車場)	800
歳出 主なもの	
・アスベスト対策事業	8,971
・衆議院選挙及び最高裁判官国民審査費	14,953
・基金積立金	290,000
・参議院補欠選挙費	13,228
・国民健康保険特別会計繰出金	20,000
・台風による崖崩れ対策工事の負担金	5,170
・都市計画道路用地買収費	21,666
・下水道事業特別会計繰出金	35,000

国民健康保険特別会計(補正予算額 4,793万5千円)

歳入	
・国庫負担金の増額分	10,745
・一般会計繰入金	20,000
・繰越金(前年度剰余金補正)	57,190
歳出	
・介護納付金の追加分	26,863

介護保険特別会計(補正予算額 4,001万8千円)

歳入	
・繰越金(前年度剰余金補正)	40,018
歳出	
・国庫返還金	9,303

下水道事業特別会計(補正予算額 1,016万円)

歳入	
・一般会計繰入金	35,000
・繰越金(前年度剰余金補正)	45,160

補正予算質疑

「アスベスト対策専決処分」

問 アスベスト調査委託費については19年前に問題が起き、当町も対応していたはずだが、

総務部長 国の対応として新たに関係省令等が制定。町の全部の公共施設に対応する。

問 検査機関はどこか。
総務部長 テスコが落札。第一次スクリーニング書面調査、第二次サンプルングを行う施設が出る。

問 100力所の施設と調査結果の公表は。

総務部長 調査結果を踏まえ、住民に混乱を招かない範囲で公表を考える。
町長 調査結果については公表するのは当然。

問 対応については全て除去するのか。
総務部長 財政的負担も多くなると予想される。調査結果を踏まえ専門家と相談し対応していく。

問 学校でのアスベストを含有する製品についての対応はどのように行っ

ているのか。
教育次長 調査の段階。

問 「補正予算」
込みと配布委託料の違いは。

総務部長 業者と一括契約し、新聞販売店まで届けてもらうことで手数料ではなく委託料とした。

問 土木費の急傾斜地崩壊対策事業について
総務部長 台風22号、仙元山の下の部分の崩れ。

危険区域の指定を受けた。県からの負担金の支払いがあり当初予算の防災工事件数との不足分517万円を計上した。

問 工事にあたり、要望のある狭い町道の拡幅は、
都市経済部長 急傾斜対策の工事として負担金の支払いは県が行う。拡幅については別途、町と地元の方と協議していく。

町長 拡幅については道路計画に基づき対応。崩落事故の復旧工事の部分は無理だと思う。

委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています。



真名瀬漁港

総務建設

「葉山町朝市、農産物加工施設条例の一部を改正する条例」

「葉山町真名瀬漁港管理条例の一部を改正する条例」

議会休会中の10月11日に担当部課長の出席を求め審査をしました。

この2件の条例改正は、平成15年9月2日に施行された指定管理者制度が導入され、施行から3年を経過する日までに

委託による管理から指定管理者による管理に切り替える必要があるため提案されたものです。

審査の中では、現状と指定管理者制度導入後との相違点を中心に質疑がおこなわれ、基本的には、現在の委託契約に基づく業務内容と同等であり、新たな費用負担は生じないとの説明がありました。

主な意見は、両施設は農業、漁業振興策として町が設置した施設であることを再認識し、指定管理者任せにせず、更に事業内容の把握に努め事業の充実・適正化を図るべきである。

また、指定管理者の選定には地方自治法の趣旨を尊重し、首長や議員等の兼業禁止について検討すべきであるとのものでした。

審査の結果、この2件の条例改正は、それぞれ全会一致で可決すべきものと決しました。

委員長 伊東圭介

教育福祉

「葉山町集会所条例の一部を改正する条例」

現在町内会、自治会に管理委託している集会所について、自治法の改正により、指定管理者制度が導入され、平成18年9月1日までに、管理委託から指定管理者による管理に切り替える必要が生じたため条例の一部を改正するものです。

町では地元の町内会・自治会にお願いする方針なので公募は考えていないとのことでした。

審査の結果、全会一致により可決すべきものと決しました。

「葉山町福祉文化会館条例の一部を改正する条例」

法改正により公共的団体等に対し管理委託ができなくなることに伴い、福祉文化会館の一部を社会福祉法人葉山町社会福

会福祉法人葉山町社会福

祉協議会に委託することができる規定を削除する必要があり、将来に向けた弾力的な運営に備えておくため、条例の一部を改正するものです。

福祉文化会館内の通所介護施設や葉山町社会福祉協議会の管理上の財産区分等あいまいな点があるため、今回の条例改正は葉山町社会福祉協議会に委託することができる規定の削除だけにとどめるべきという意見がありました。

審査の結果、賛成多数により可決すべきものと決しました。

「葉山町通所介護施設条例の一部を改正する条例」

同じく法改正により、公共的団体等に対し管理の委託ができなくなることに伴い、現行の管理委託から指定管理者制度に移行する必要があるため条例の一部を改正するものです。

今回は法律に基づき、

事業者を広く募集し、最も適した事業者の選定は選考委員会を設けて実施することです。

審査の結果、全会一致により可決すべきものと決しました。

「国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の採択と葉山町の私学助成制度拡充を求める陳情書」

陳情の趣旨は、すべての子供達への行き届いた教育の確保のため、公立・私立を問わず小・中・高校での少人数学級が図られ、教育費の増額や教職員の増員など、また、経済的理由により私学への進学をあきらめることのないように、現行の助成制度を更に拡充するよう国と県に対し意見書の提出を求め、また町

に対して同様の助成制度の拡充等を求めているものです。

審査の結果、国の三位一体の改革や今日の学校

制度問題などを勘案すると趣旨は理解できるとし、全会一致により趣旨を了承いたしました。

委員長 金崎ひさ

議会運営

「葉山町議会議員定数条例の一部を改正する条例」

この議案は、現在職員の削減、各種事業費の縮減がされる中で、議員自らが規範となるべく議員定数の削減を行うため、条例の一部を改正するというものです。

審査の中では、議員の身分や役割、議案提出の経緯や提出者である議員の辞職等が議論されました。主な意見としては、

「議員の役割は、住民の声を行政に反映することでもあり、地方分権が進む中で、これ以上の削減は議員としての役割に支障をきたす」

「議員提案による本議



葉山町朝市・農産物加工所

案は、議員の身分に関する

ことで、提出者が責任を持つて対応すべきであるにも関わらず、提出した数日後に自らの意思で辞職をした。提出者が議案審議の委員会に臨めない状態にあり、審議する体制が整わないため、本議案の審議に入るべきではない」

審査の結果、全会一致により否決すべきものと決しました。

「葉山町議会の改革を推進するための陳情」については継続審査としました。

委員長 鈴木道子

ごみ問題特別

8月31日委員会を開催いたしました。葉山町のごみ問題の現況を、部長以下職員の出席を求めて聞いた後、質疑を行いました。

内容は、ごみ処理広域連合の準備協議の現状、エコループ計画の状況、事業系有料ごみの収集問題、その他のごみ問題全般についてでありました。

ごみ処理広域化計画の

委員より意見を集めまし 9月29日
方向が本年末に打ち出された。また、議会ホームページ 第82号の編集予定の調
れる予定ということであり、次回の委員会をそれぞれ、個人情報取り扱い 委員会に上呈した、議会
に合わせる形で開催する 隣市の状況報告を交えな 個人情報を報告いたしま
予定です。 予定です。

委員長 佐野司郎

議会広報特別

8月1日
議会だよりの新しい編 して上呈し、判断を委ね 定しました。
集要網の作成に向け、各 ることになりました。 委員長 待寺真司

専決処分承認について

平成17年8月8日に衆議院が解散し、8月30日公示、9月11日投票の日
程で衆議院議員総選挙が執行され、急遽関係予算が必要となったため、専
決処分としました。また、アスベスト調査を早急に行うため、調査委託費
を専決処分としました。

葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

関係規定を整備するもので、全会一致で可決しました。

葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

関係規定を整備するもので、全会一致で可決しました。

人権擁護委員の推薦(再任)

吉田昌子氏・横田昌和氏・伊東清氏・本多清法氏を人権擁護委員として
法務大臣へ推薦するためのもので、全会一致で可決しました。

葉山町議会議員定数条例の一部を改正する条例

議会運営委員会の報告に賛成多数で、否決されました。

こんなことが決まりました





堀内防災広場

質問

質問者の提出原稿を基に編集しています

佐野司郎

福祉の拠点事業の早期着手を 町長 福祉村を考えている



問 自区内独自処理は選
択肢であるか。

町長 選択肢のひとつで
あるが、現実的でない
と考える。

問 ごみ処理広域化計画
の合意に向けて、県の調
整は期待できるか。

町長 現在、ほとんど関
与はないが、必要であ
れば働きかける。

問 今後の分別のあり方
の考えは。

町長 費用と効果等も考
慮して、方法など幅広
く考えていく。

問 景観形成について

町長 歩道には街路樹が
計画されている。全体的

問 旧返葉新道のバス路
計画されている。全体的

問 景観形成について

町長 歩道には街路樹が
計画されている。全体的

待寺真司

防災機能を備えた公園整備を早急に 町長 堀内防災広場等防災公園の位置づけを図る



問 まちづくり条例施行
後の運用課題について

町長 町民の意見を反映
させることができ、開発
事業に対する透明性を確

問 特定開発事業に関し
る包囲網を作り、素晴し

町長 都市マスタープラ
ンに則ったゾーニングに
よる指導を行うべき。

問 旧市街地で地区計画によ
る包囲網を作り、素晴し

町長 それぞれのゾーニ
ングに合った町の方向性
の意義を汲み取っていた

問 景観条例と連携して
規制の強化を図っては。

町長 土地利用制限だけ
でなく、緑の保全や産業

その他 AEDの整備・
民間木造住宅耐震化事業

町長 土地の保全や産業
振興、公共施設整備も含

には、地区計画が望まし
い。必要であれば、新し
い条例も考えられる。

問 町民が十分な磯遊び
が出来る制度を、有料で
もいいから作れないか。

町長 魚介類の採集規制
が厳しすぎるという声も
あるが、漁業者の立場も
ある。仲立ちを考えたい。

問 総合体育施設の建設
を望む声は高い。住民の
必要度を、再調査して実
現を目指せないか。

町長 考えている。

問 福祉の拠点事業に、



福祉の拠点予定地

だけのよう指導する。

問 条例運用上問題点は。
町長 都市経済部長 特定開発
事業の周知については、
ホームページなどを通し

問 自然災害による長期
避難生活に対応するた
め、防災公園の整備を。

町長 市街地において、
防災空間の確保は総合的
に検討し、推進に努める。

阿部勝雄

なぜコミプラ利用だけ全て住民負担か 町長 スタートが違う議論で無理がある



問はこの程度と考える。

問 汚水処理施設は全て住民負担だが。

町長 その議論は移管時にすべきで、今議論すべきことではない。

問 汚水処理施設の修繕費はここ数年700～900万円に急騰したが。

町長 施設の老朽化に伴っての補修費だ。

問 今の値上げ案で450万円という理由は。

福祉環境部長 備品等の交換も終わり、今後10年

問 公共下水道は90万円

の維持管理費、真名瀬の



逗子市の太陽光発電装置

土壤浄化施設の200万円の維持管理費、全て町費負担。コミプラ利用者だけ

は全額住民負担か。

町長 スタートが違う議論で無理がある。

問 施設が無かつたら環境保持のために何らかの施設が必要だ。

町長 施設は開発の付帯条件で開発が無ければ不要なもの。

問 介護保険法の改正で大きく変わった点は。

町長 第一は、要介護となることの予防を重視すること。次に、今年10月より施設入居者の食費と住居費が全額自己負担となったこと。同時に、低所得入居者に対する負担軽減措置として所得区分



美勝 森

省エネ対策・公共施設や学校に太陽光発電の設置は

町長 財政負担が問題

問 小規模工事登録制度に取り組む意思は。

町長 合理的運営が可能か検討している。

問 小さな事業者も請けられる登録者制度を。

町長 商工会とも連携をとり対応を考えている。

問 介護保険法改正で食

事代や居住費の負担が出た。生保者はユニット型

に入ると自己負担か。福祉環境部長 生保の方のユニット型個室は認められない。

問 特養、老健はほとんど個室。低所得者への手立ては。

町長 国に考えてもらわないと困る。

逗子市では、環境基本計画に基づき今年までの4年間で市庁舎及び市内八つの公立小・中学校全てに太陽光発電装置の設置を進めている。

葉山町として、太陽光発電装置を町内の公共施設や学校に設置する考え

は。

町長 二酸化炭素の削減が期待されるがその効果と、設置費用が多額なことから財政負担の問題や他の行政需要を勘案して

いきたい。

その他の質問

町内3団地の汚水処理施設の管理状況と基金について、及び使用料値上げ案の問題点

・町職員の窃盗行為と論旨免職について



東伏見台のコミプラ

鈴木道子

保育士の交流研修を即刻すべきと思うが 町長 極力実施する



問 特に給食用の調理釜の状態はどうだったか。

教育次長 検査の結果すべてに異状なしであった。

問 予防接種率の向上に一層徹底を図るべきだが。

福祉環境部長 教育委員会と話し合い、取り組む。

問 AEDについて伺う。

消防長 町民75名が受講した。職員にも順次講習する予定だ。

問 JR逗子や京急新逗子に、配備の働きかけは。

は終了した。速やかに必要な措置は行う。

消防長 話していく。

問 公園の健康遊具設置について伺う。

町長 公園4カ所と役場庁舎前と芝崎公園に設置した。利用者に大変好評で順次整備していく。

問 ポケットパーク設置など計画的な実施を。

町長 十分精査している。昨年は12回研修した。いるな角度から考える。

問 管理栄養士の配置について伺う。

町長 町立小学校担当2名・県費職員1名と保健センターに2名だ。

問 保育士の研修体制について伺う。

町長 葉山保育園に常勤

5名と非常勤1名アルパイト12名が勤務している。昨年は12回研修した。

一層の資質の向上のため外部研修に加え他保育園との交流も考えていく。

問 来年度実施すべきだが。

町長 極力していく。

横山すみ子

長柄・川久保橋付近町道に歩道設置を 町長 整備のため努力する



問 「たんぼば教室」も

移転予定である。現在は

5名で15人の優れた療育

を行っている。正規職員

への登用が必要である。

町長 行革で人員削減を進めているが、しかるべく対応すべきものと私自

身も考えている。

問 配置して、町民が相談し

やすいようにすべきでは

町長 今回保健師を1名

新規採用した。配置については検討する。

問 横須賀市の知的障害者通所施設「ゆう」がシ

ョートステイ事業を開始

した。支援費以外に約1

問 逗葉新道の歩道改良

良、バスベイ設置などと

合わせて、長柄、川久保

橋付近町道に歩道を設置

し、葉桜・イトーピアか

らの学童198名の安全を確

保してほしい。

町長

数年前にも川久保

橋付近の道路改良に動い

たことがある。県道の改

良工事もあり、付近の地

権者等のご協力をお願い

し、改良に努力したい。



背のばしベンチ



長柄・川久保橋交差点

町長 町全体のバランスもあるが、18年度予算に向け検討する。

町民の健康づくり、母子保健などの事業を行っている。役場にも保健師を

町長 対応の時期について、横須賀市や他市の状況を調査し検討している。

中村常光

長柄小学校のアスベスト問題は 教育長 飛散防止を図るため夏休み中に改修工事を完了した



安を解消する上でも真剣に取組んで行かなければと思う。そこで

一、学校施設のアスベスト対策と対応は、また、給食調理機器(回転釜)についてはどうか。

問 アスベストによる健康被害は大阪が最も多く次いで兵庫そして神奈川県は全国で三番に多く深刻な事態で今議会に於て対策事業費として897万円が補正予算で計上された。

一、アスベスト問題でその他の公共施設の状況や今後の対応は。また、町民への説明の予定は。

この問題は町民の生命に深くかかわる事であり不

町長 一、厚生労働省の定める方法による第一次調査が終了し、引続き第



プラスチック類のストックヤード

町長 ビン・かん・アルミなど素材の変更が原因。容器包装プラスチック

町長 本年12月中には方向性を見出す。

町長 新たな循環型形成推進交付金の対象に該当しない。単費での施設整



伊藤純子

資源化率向上に向けては 町長 平成18年10月から容リ法プラの分別収集

問 可燃系ごみからの資源率は約2倍となり評価できるが、不燃系からは約631トンと半分の回収。低下の原因と資源化率向上への取り組みは。

問 エコループへの参入はなくなった。ごみ処理広域化の協議会は休会すべきところ継続してき

町長 葉山町とは決定されていない。含みを持つた折衝している。分担がはつきりすれば協力を要請する。

町長 新たな循環型形成推進交付金の対象に該当しない。単費での施設整

た。実質、協議再開に向けての町の方向性は。

問 植木選定枝の施設は葉山町と町外の両論併記。中間報告は今でも生きているとの解釈か。候補地の折衝はされているのか。

町長 葉山町とは決定されていない。含みを持つた折衝している。分担がはつきりすれば協力を要請する。

問 国庫補助金は学童クラブの育成・指導に資する人件費のほすが実際は専任ではなく児童館の指導員であり中途半端である。運営主体が不透明。学童クラブを特化し、選択肢を広げていく考えは。福祉環境部長 様々な機

備となり、選択肢としてあるが現実的には難しい。

二次調査として含有率の調査のため検体の採取、分析に取り掛かる。

町長 長柄小に於いてはアスベストを含んでいると疑わしい材料が露出し、児童が日常的に利用する箇所の飛散防止を図るため本年度夏休み中に工事を完了した。

町長 新たな循環型形成推進交付金の対象に該当しない。単費での施設整



給食調理機器(回転釜)

伊東圭介

消防職員の増強が必要では

町長 養成に時間がかかるので前倒しで検討する



が高まる。

問 人口の増加、救急出動の増加に加え、消防職員の平均年齢が高いこと等の実態を考えると増員の必要性があるのではな

問 消防職員の勤務体制が三部制に移行して1年が経過したが問題はな

いか。

消防長 引継ぎに時間がかかる等のデメリットはあるが、常に同じメンバーによる勤務なので隊としての結束力強く、士気

町長 基本的には一連の行政改革の中で対応すべきである。委託できる部署は、業務委託をし、町職員全体の人員を考慮して検討する。

問 防災行政無線の難聴

問題を補完するために今

問 回配られた防災ラジオは難聴地域においては電波が微弱で効果がないのではないか。

町長 もう一度調査をし

畑中由喜子

海辺の環境保全・安全対策に条例制定が必要では

町長 条例化に向けて議会と行政と一致協力して対応すべきと思う



て、湘南ビーチFMと協議し、対応する。

問 平成18年度を初年度とする総合計画の中期基本計画策定の進捗状況は。

町長 来年3月を目途に取りまとめる予定である。

まちづくり町民会議の提言内容を精査し、取り入れられるものについては極力取り入れていきたい。

問 住民自治の一層の促進と自治改新を目指した自治基本条例を策定する考えはないか。

町長 町民ニーズや必要性の有無、現行の地方自治のルール等さまざまな研究を継続する必要があり、検討をしたい。

だけでなく町全体として一丸となつてこの問題にぜひ対処していきたい。

問 住民の苦情をきちんと受け止められるようなバックつまり条例が必要かと思う。ジェットスキーとの住み分けやバーベキュー、キャンプ、夜間の花火の規制なども盛り込むべきではないか。

町長 条例化に向けて議会と行政と一致協力して対応すべき問題と思う。

町長 美化財団に委託して

問 住民自治の一層の促進と自治改新を目指した自治基本条例を策定する考えはないか。

町長 町民ニーズや必要性の有無、現行の地方自治のルール等さまざまな研究を継続する必要があり、検討をしたい。

だけでなく町全体として一丸となつてこの問題にぜひ対処していきたい。

クリーン葉山では2.6トン以上のごみが収集される。何かおかしくないか。

町長 問題は内容面についてであり、若干不満があると知事や県には強く申し入れをしている。

問 町民会議から提言が出たが、総合計画基本計画の策定は予定より遅れていて、またも次年度予算編成に間に合わないのでは。

町長 見直しの年度につ



消防庁舎



一色海岸

金崎ひさ

町長 垣根を取り除くまで踏み込みたい

障害児者支援の福祉課と教育委員会の連携は



福祉と教育の分野の垣根を取り除くまで踏み込みたい。

問 先進地では個別指導計画を立てて対応しているが。

問 平成18年10月に開所する保育園・教育総合センター複合施設における障害児者に対する福祉課と教育委員会との連携について。

福祉環境部長 一貫したシステム作りは非常に重要なこととされている。

問 そのためには司令塔としての発達支援室設立の必要性があると思うが。

町長 せっかくの複合施設なので、最大限の活用をしなければならない。

町長 連携へ進展させるためにどのような方法が



(仮)保育園・教育総合センター工事現場

あるか検討している。基本的な考え方にはへだたりがないと思うので見守っていただきたい。

問 現在の町立保育園の耐震性とアスベストの安全性について。

総務部長 耐震対象であるが、アスベストは飛散の恐れがある吹きつけはない。

職員不祥事で自らの処分は

町長 公金か否かで判断



問 同会社の15、16年度ある。

問 職員の不祥事に対して直属の上司の処分は。

問 町長は今回の処分をどう考えているのか。

町長 庁内での審査委員会審査の結果を尊重した。

町長 各担当部長が意識の向上を指示する。各部署を通じ意識の向上を図る。

町長 当初の設立目的通りに事業を展開してきた。今後も同様である。

問 つい最近の新聞情報では「神奈川県は来年2月の議会に土地開発公社の解散を提案」とあった。葉山町土地開発公社の存在について。



都市計画道路整備工事(町道森戸・向原線)

問 今回の16年度各会計決算に関する特別委員会審査で、しばしば数字の誤記などで同審査が空転した。改善策は。

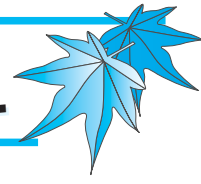
町長 各担当部長が意識の向上を指示する。各部署を通じ意識の向上を図る。

町長 当初の設立目的通りに事業を展開してきた。今後も同様である。

問 つい最近の新聞情報では「神奈川県は来年2月の議会に土地開発公社の解散を提案」とあった。葉山町土地開発公社の存在について。



みなさんからの 請願・陳情のゆくえ



国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の採択と葉山町の私学助成制度拡充を求める陳情書
.....趣旨了承

《要望》

高砂西公衆便所（元町公衆便所）の存続及び水洗トイレへの改築についての要望書.....机上配布

なお継続して審査します

葉山町議会の改革を推進するための陳情

子育て支援課の配置、小児科の誘致、堀内児童遊園にトイレ設置を願う陳情書

アトランティス葉山マンション建築計画縮小に関する陳情

議会活動日誌

今回は、第2回定例会終了以降、第3回定例会終了までの活動報告をいたします。

7月

1日 議会広報特別委員会

28日 議会広報特別委員会

4日 議会広報特別委員会

29日 決算特別委員会

5日 議会運営委員会

30日 決算特別委員会

8日 教育福祉常任委員会

10月

8日 総務建設常任委員会

3日 決算特別委員会

12日 議会広報特別委員会

4日 決算特別委員会

15日 議会広報特別委員会

5日 決算特別委員会

1日 議会広報特別委員会

7日 教育福祉常任委員会

5日 議会運営委員会

11日 総務建設常任委員会

8日 議員研修会

12日 決算特別委員会

26日 議会運営委員会

17日 決算特別委員会

31日 ごみ問題特別委員会

11日 総務建設常任委員会

9月

18日 議会運営委員会

15日 議会運営委員会

19日 議会運営委員会

20日 議会運営委員会

20日 議会運営委員会

27日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

29日 議会運営委員会

20日 議会運営委員会

20日 議会運営委員会

町長行政報告

テニスコートABC全面改修工事
3664万5千円

葉山処理区（一色）枝線築造工事（その3）

葉山町道560号線道路整備工事
2546万2500円

葉山処理区（一色）枝線築造工事（その5）

葉山処理区（堀内）枝線築造工事
1995万円

葉山処理区（長柄）枝線築造工事（その7）

都市計画道路向原森戸線整備工事
3391万5千円

2940万円

2971万5千円

議会交際費支出状況（平成17年4月～9月）

平成17年度上半期の支出総額は219,000円です。内訳は次のとおりです。（詳しくは議会ホームページをご覧ください）

種別	件数	金額
慶弔費	1件	10,000円
会費	3件	18,000円
寸志（祝金）	16件	160,000円
賛助金他	2件	31,000円
合計	22件	219,000円

傍聴記

議会を傍聴しての印象。今回まちづくり条例の運用、安全で安心して暮せるまちづくりについて傍聴致しました。質問内容は大変勉強なされたと思いましたが、町側の説明がとぼしく表面的かなと思われました。傍聴

堀内 植村 英



していて特に感じた事があります。傍聴席から議員席が見えないことです。傍聴者は質問内容と答弁内容が合み合わずに理解しにくい場合があります。その時主役の議員席の状況に関心を持ち議会の反応が参考になります。議員、行政、傍聴者と三者一体となった議会を傍聴してみたい。

表紙説明

表紙の写真は、10月22日(土)に開催された葉山小学校運動会でのワンシーンです。当日は小雨降るあいにくの天候でしたが、子ども達の元気一杯の競技や演技に、保護者の皆様、地域の方々も手に汗握り大きな声で応援を送っていました。左上の写真は、同日に開催された一色小学校運動会での、高学年の生徒達による組体操の「コマ」です。練習の成果が発揮され、特に最後のタワーでは崩れることなく、完璧な演技に涙ぐむ保護者の方もいらつしました。本日に葉山の子も達は何事にも一所懸命取り組む姿勢があり、仲間を思いやる気持ちを持っていて、両校とも一目でわかる大変素晴らしい運動会でした。



一色小運動会の3つのテーマ



先の特別国会で郵政民営化法案可決成立後、三位一体改革の一層の推進並びに公務員改革等が次なる改革課題の目玉として取り上げられています。前者では義務教育費国庫負担金の削減、生活保護費の国庫負担割合の見直しなど、後者に関しては国家公務員・地方公務員を問わず定数の削減あるいは給与の見直しなどで、それぞれについて甲論乙駁の現在では、短期間でそれらがどのような結論に落ち着くのかは、小泉純一郎首相でも明確な見通しを持ってはいないように思えます。正直なところ現時点では、無学の私には三位一体改革なるものが我が町の財政面によい結果をもたらすのか否かも、皆目見当が付きません。

つい最近の政府系金融機関の統廃合問題では政

平成17年第4回定例会は
11月29日(火)からの予定です
皆様の傍聴をお待ちしています

お詫び

前号(平成17年7月29日発行の第81号)の7ページ上段1行目「葉山町農業委員会」を「葉山町農業委員会委員」に、13ページ2段目5行目「提出すべきものを」を「提出すべきものと」に訂正し、お詫び申し上げます。

府系金融機関改革、総医要」などと喋ったら、つ療費削減・抑制問題ではいつい社長自らサッサと医療制度改革と言われる辞めれば社員全員大賛ように、やたら「改革」成、これ以上の意識改革なる言葉が付き、各分野ほかになし、なんて思っから昨日は 改革、きたものでした。

ようは××改革と「改革」他方私にはなんと云つた日替りメニューを提示ても自己改革ということされてるような感じが最大の難問で、明日から早寝早起き必ず実行とします。

一般的には「改革」と誓ってみても、三日と持たないでいたらくです。対しにくいものです。ところで、もしみなさしかし私はかつてサラが自己改革に取り組んリーマン時代、社長が年頭頭頭で「この厳しむとしたらそれはどのよい時代には社員一人ひと うなことですか…」の意識改革が是非必(10月31日記 守屋巨弘)